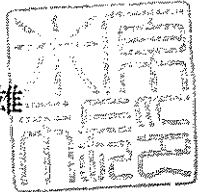




平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

滋賀県米原市長 平尾道雄



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平素は道路事業に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが米原市は、近畿・中部・北陸圏を結ぶ交通の拠点として、重要な役割を担ってきましたが、道路整備状況は、直轄国道である国道8号、21号ですら、いまだ2車線であり、県道や市道においても、道路中心線すら引けない路線も数多く存在しております。

地域の活性化を図る上で、道路の果たす役割は非常に大きく、わが米原市は今後とも道路整備を進める必要があります。

今回、「中期計画」を作成されるにあたり、次の意見を申し述べます。

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策。

① 安心安全なネットワークの構築。

- ・本市は近畿、中部および北陸圏の圏域界に位置し、日本の大動脈が通過している交通拠点としての重要な役割を担っていますが、地方整備局の境界付近での、大規模地震等の災害に強い幹線道路ネットワークとしての整備の遅れが目立っています。

特に、市内を走る一般国道8号と21号は交通停滞が慢性化し、冬季間における交通渋滞は、市民の日常生活において救急や災害時は命に関わる深刻な問題で、毎年近畿・中部地方整備局に陳情していますが、未だに整備計画が進んでいない状況で、**交通安全対策をはじめ道路防災対策の観点からも一刻も早い整備が待ち望まれています。**

- ・降雨量が多くなると通行止めとなり、生活道路が確保できない状況が未だに存在しています。

主要地方道山東本巢線は、県境付近は通行不能であり、また100mmの連続雨量で通行止となる区間があり、孤立集落が発生しています。

交通規制の解除のための道路改良、代替路線の構築の必要があります。

- ・冬季の道路の積雪・凍結は、住民の生活に多大な影響を与えており、また、交通量の多い道路でも、歩道の整備が出来ていない箇所が多く存在しています。

冬季に強い道路整備・交通事故防止の為の道路整備の推進が必要です。

② 物流コストの削減や環境負荷の低減。

- ・ 本市は流通環境に恵まれた地域の特性を活かし、鉄道交通との結節性を図り、物流コストの削減や環境負荷の低減を実現できる環境にあり、交通結節点事業の推進を行っています。

地理的条件を活かした道路網整備が必要です。

③ 地域の活性化

- ・ 本市および県の道路行政は貧困で、「道づくり」は人づくり、まちづくりです。少子高齢化を控え、地域の活性化を図ることは最重要と考えます。

住みたくなるまちを築きあげるためには、「道づくり」は最大の効果をもたらします。

- ・ 合併新市が一体感のある地域づくりと効率ある行政運営を図る為にも道路整備は必要です。これまでに改良が済んだ幹線道路延長は54%に過ぎず、国道8号バイパスや国道21号バイパスをはじめとする高規格道路や県道・市道の生活道路の整備促進にかかる費用は概算で2,500億円の試算をしています。

引続き道路財源の確保が必要です。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

① 高速道路の有効活用

- ・ 高速道路を有効的に活用するために、スマートインターチェンジを増設し、合せてアクセス道路の整備を行う等、**道路整備の効率化を進める必要があります。**
- ・ 沿線の人たちが親しめる「道」として除草や植栽の維持管理については、地域との連携を支援する仕組みを強化して、**維持管理の効率化を進めることが必要です。**

3 その他道路政策や整備・管理全般に関すること。

① 適正な維持管理

- ・ 時代の移り変わりにより、本市の広域農道は国道のバイパス機能とした交通形態に変容してしまいました。
適正な維持管理が困難な状況となっており、**道路利用状況に合った適切な管理区分の見直しが必要です。**